

将来と お金のことを 考えよう



1 お金についての知識

Q お金を増やすには?

投資信託のしくみ

投資信託とは、投資家から集めたお金をひとつの大きな資金としてまとめ、運用のプロが株式や債券、不動産などに投資・運用し、その利益を還元します。

メリット
少額で投資できる
専門家に任せられる

デメリット
元本が減ることもある

オレも考えてみようかな。

25

お金についての基本的な知識を学びましょう。
お金を増やすための方法を考えます。

分散投資

複数の資産に投資することで、リスク(振れ幅)を小さくすることができます。また、投資先の地域を分散することで、安定した利益を得ることが期待できます。このような投資を分散投資と言います。

リスクを小さくできるのよ!

分散投資の効果(イメージ) 長期・積立・分散投資の効果

出典：金融庁「平成27事務年度 金融レポート」

27

リスクとリターン

金融商品には、リスク(振れ幅)とリターン(利益)があります。投資を考える場合は、それぞれの商品の特長を知っておくことが大切です。

ローリスクでハイリターン金融商品はないのよ。

リスクとリターンの関係

リスクとリターンのイメージ図

26

ポイント

●投資信託のねらい
資金を株式や債券などに投資して利益を得ることは一般の人には難しいため、専門家が運用することで安定した利益が生まれることをねらいとしているのが投資信託です。

- 安全性** 元本の保証度合い
● 利率は低いが、元本を割らない
例) 普通預金、定期預金、元本保証型個人年金 など
- 収益性** 利回りのよさ
● 利率は高いが、元本を割ることもある
例) 株券、投資信託の一部など
- 流動性** 現金化の容易さ
● 利率は低いが、いつでも換金可能で元本を割らない
例) 普通預金

●投資をする際のポイント
安全性、収益性、流動性の3つは連動しています。例えば収益性が高くなると安全性や流動性は低くなります。

コトバの解説

●分散投資：資金を複数の金融商品に分けて投資すること。投資によるリスクを分散させることができる。

ワークツール



A～Cさんのそれぞれに適した資産運用の種類の中から選び、その理由を

話合ってみよう。

- ア 預貯金
- イ 債券
- ウ 株式

適している資産運用の種類とその理由



Aさん

銀行には預金があるけど、利息は少ないし…。
大きなリスクは負いたくないけど、
もう少しリターンが欲しい。



Bさん

せっかく資産運用するなら、大きな利益が得られるといいな。
子どものころから●●社のゲームが
好きだったから応援したい。



Cさん

利益は得られなくてもいいから、
いつでも引き出しができるほうがいいなあ。

B ライフプランとお金

ライフプランとお金

ライフデザインを描こう

将来、どのような人生を送りたいかを考えることで、進路の選択がはっきりします。また、それに関係するお金について考えることにもつながります。将来の人生についての構想を「ライフデザイン」といいます。

若いうちにライフデザインを描くことで、夢を実現できる可能性が高まるの。

自分にとって「幸せ」とは？

人生で実現したいことは何か？

どんな仕事をしてみたいか？ 実現したい夢は？

ライフデザインがはっきりする

ライフプランをふまえてお金のことを学びましょう。
ライフプランを立て、人生で必要なお金について考えていきます。

ライフプランとお金

30歳までのライフプラン

みなさんは、遠い将来のことはイメージしにくいかもしれません。まずは30歳を区切りとして、そのときにどのようなようになっていきたいかを考え、そのためにどうすべきかを考えてみましょう。

ほくもしっかり考えよう。

(例)

現在	高校卒業	大学卒業・就職	28歳	30歳
●歳 18歳	22歳 23歳			
教育系大学で学ぶ	教員採用試験に合格する	教員生活スタート	結婚	第1子誕生
				生徒に慕われる教員となり活躍

現在	高校卒業	専門学校卒業・就職	25歳くらい	30歳
●歳 18歳	20歳 21歳			
専門学校で学ぶ	製菓衛生師の資格をとる	パティシエとして勤務	海外で修業する	独立して店を持つ

ライフプランとお金

ライフプランを描こう

ライフデザインより具体的に、人生における希望や計画を年代順に描いたものを「ライフプラン」といいます。ライフプランを描いてみましょう。

遠い将来のことはあまり考えられないなあ。

結婚

自動車購入

子どもが進学する

就職

子どもが生まれる

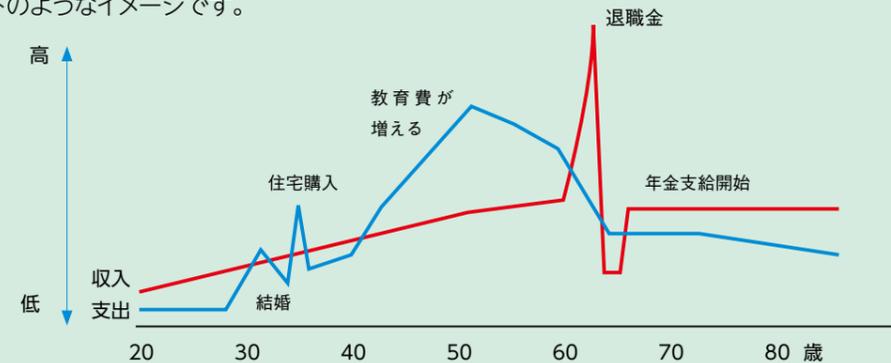
住宅購入

老後

コラム

●ライフイベントと収支

人生でおこるイベントの中には、まとまったお金が必要なものがあります。いつ、いくら必要なかの予測を立てておくと、そのために準備しておくべきことを把握できます。例えば、下のようなイメージです。



発展

●変化に応じて立て直しを

ライフデザインやライフプランは、自身の環境が変わった時には立て直す必要があります。家族構成の変化や環境の変化があるごとに、立て直す習慣を身に付けてみましょう。

3 多様化する販売方法と決済方法

3 多様化する販売方法と決済方法

多様な支払い方法

代金を支払う際、現金以外の支払い方法が広がっています。スマートフォンを使った電子マネーやクレジットカードなど、キャッシュレス化が進んでいます。

電子マネー

現金を持っていなくても支払えるから便利だ。

交通系ICカード、流通系ICカード、スマートフォンなどを機械にかざして支払う。あらかじめチャージ(入金)しておくしくみ。

クレジットカード

カードを機械で読み取らせ、暗証番号を入力、またはサインするなどして支払う。後日、金融機関の口座から引き落とされる。

キャッシュレス化はこれからも進むはずよ。



消費生活のポイントと金融トラブルへの対処を学びましょう。さまざまな決済方法とそのしくみについて学びます。

3 多様化する販売方法と決済方法

分割払いとリボ払い

クレジットカードを利用した代金は、分割して支払うことができます。また、毎月一定額を支払うリボ払い(リボルビング払い)を選ぶこともできます。

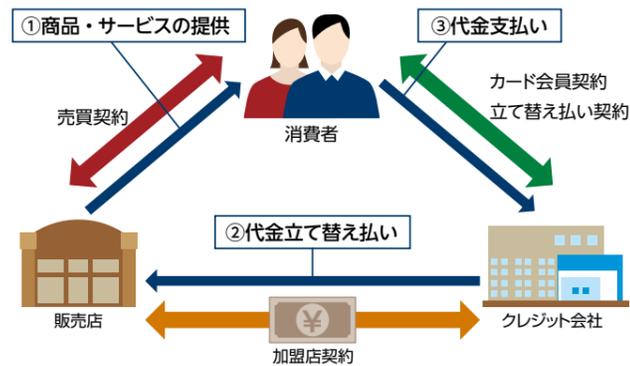
支払い例	100,000円	100,000円					
1か月めと4か月めに、100,000円ずつ商品を購入した。	1か月め	2か月め	3か月め	4か月め	5か月め	6か月め	7か月め
分割払い	すべて4回払いにした場合の返済金額						7か月で
代金を3回以上に分けて支払う。回数は自分で決められる。代金に手数料がかかる。	25,000円 +手数料	25,000円 +手数料	25,000円 +手数料	25,000円 +手数料	25,000円 +手数料	25,000円 +手数料	25,000円 +手数料
リボ払い	毎月の返済額を10,000円にした場合の返済金額						元利定額、利率15%の場合
代金を毎月一定額支払う。月々の支払い額を決められる。後からリボ払いにできることもある。	10,000円 (元金+手数料)	10,000円 (元金+手数料)	10,000円 (元金+手数料)	10,000円 (元金+手数料)	10,000円 (元金+手数料)	10,000円 (元金+手数料)	10,000円 (元金+手数料)

3 多様化する販売方法と決済方法

クレジットカードのしくみ

現金がなくても、クレジットカードを利用して後払いできるしくみがあります。

クレジットカードのしくみ



消費者、販売店、クレジットカード会社の3者の契約よ。

クレジットカードの支払い方

- ◆1回払い
手数料がかからないが、金額が大きくなることもある。
- ◆ボーナス1回払い
支払いを先のばしにできるが、買いつぎてしまうことがある。
- ◆分割払い
1回ごとの支払いを少なくできるが、手数料がかかる。
- ◆リボ払い
1回ごとの支払いが定額だが、手数料が高くなることもある。

ポイント

●クレジットカードのメリットとデメリット

クレジットカードは、商品を買いたいときに現金がなくても購入でき、支払いを分割にできるというメリットがあります。しかし、現金を使わないので、支出の管理がわかりにくくなりがちであること、クレジットカードの利用しすぎで支払い総額が増えてしまうという危険性があります。

コラム

●QRコード決済

キャッシュレスの支払い方法のひとつにQRコード決済があります。店側が掲示したQRコードを利用者が自分のスマートフォンで読み込む「ユーザースキャン方式」と、利用者がスマートフォンの決済アプリで表示させたQRコードを店側が読み込み、利用金額を入力して決済する「ストアスキャン方式」があります。支払いの決済には、決済アプリにチャージしておいた残額から支払う前払い、クレジットカードやデビットカードで支払う後払い、決済アプリに登録した銀行口座から支払う即時払いがあります。現金のやりとりをする必要がなく、決済でポイント還元が受けられることもあり、近年急速に普及しています。

発展

●さまざまな電子マネー

ICカードなどを用いる電子マネーの種類や決済のしくみを調べてみましょう。また、電子マネーにはどのようなメリットとデメリットがあるでしょうか。